部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電話	483-6328
-----	-------	-----	-----	------	------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	9058	事務事業名称	汚水施設整備事業				短縮コード	経常	臨時	9058		
予算区分	会計	20	公共下水道事業特別会計	款	02	事業費	項	01	事業費	目	01	汚水施設費
区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等	下水道法								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和42年度より公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質を保全するため、計画的・効率的に排水区域内の生活環境の改善と衛生的な市街地整備を行っている。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	04	快適生活空間都市をめざして					
公共下水道の整備により、個々の家庭生活やその周辺の環境に不快感を与えなくなり、快適な生活ができるようになる。又、今後は未整備地区の早期解消に向け事務事業を実施していく。					大項目 (節)	05	下水道					
					中項目	01	下水道					
					小項目 (施策)	01	汚水排水の整備					
					細項目	01	汚水施設の整備拡充					
					実施計画の計画事業	4501	公共下水道汚水施設整備事業					
計画事業の位置付けの有無	☐		計画事業期間	平成11年4月 ~ 平成20年3月		計画事業費	千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	公共下水道計画区域内の生活排水、工場排水。 河川、沼 (印旛沼放水路等)。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 汚水管渠築造工事 (汚水本管及びマンホールの整備)。 汚水柵設置工事 (公共汚水柵の設置)。 ※平成20年度に計画していること: 同上 (企業会計に移行)。						
意図 (何を狙っているのか)	汚水を衛生的に処理する。 水質の保全。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	公共下水道計画区域内の生活排水	m	1,269	1,035	1,088	
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	汚水管渠整備延長	m	1,269	1,035	1,088	
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	汚水管渠整備延長	m	1,269	1,035	1,088	
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	9058	事務事業名称	污水施設整備事業			所属名	建設課
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績		計画		計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	19,000	18,500	17,588	
		県	千円				
		地方債	千円	53,200	112,400	72,000	
		一般財源	千円		10,600	52,145	
		その他	千円	87,456	83,674	7,500	
主な事業費の内訳		污水管渠築造工事 8件 1,310m 91,563千円 污水柵設置工事 1件 50個 14,756千円		污水管渠築造工事 8件 1,035m 134,588千円 污水柵設置工事 1件 60個 15,000千円		污水管渠築造工事 9件 1,088m 92,632千円 污水柵設置工事 1件 41個 11,445千円	
人件費(B)		千円	28,606.5	36,862.8	50,724.2	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	188,262.5	262,036.8	199,957.2	0	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価 類型	評価事項	評価区分	理 由			
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☒ 結び付いている	污水施設整備事業は污水排水の整備として、上位の施策に結びついている。			
		☐ 結び付くが見直しの余地がある				
		☐ 結びつきが弱い・ない				
		☐ 評価対象外事項				
目的 妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している	未整備地区の解消に併せて、市街化調整区域の人口密集地に於いても整備を実施して行く必要がある。			
		☒ 達成していない				
		☐ 評価対象外事項				
目的 妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある	下水道法により、事業の実施は市が行うものと義務づけられている。			
		☒ 可能性はない				
		☐ 評価対象外事項				
目的 妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☒ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で污水排水の整備に結びついている。			
		☐ 見直す必要がある				
		☐ 評価対象外事項				
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある				
		☒ 効率性向上の可能性はある				
		☐ 両方可能性はある				
		☐ 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	設計・積算業務に際しては、省力出来るよう委託業務の効率化(設計・積算業務に即時適用)を図り、工法等についてもコスト縮減による経済効果を図って行く。			
		☐ 臨時的任用職員等の活用				
		☒ IT化等業務プロセスの見直し				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
	☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)	
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☒ ある	各担当の設計・積算業務の効率化を図るため委託範囲を追加(積算基礎資料)する必要から経費が増となる。				
	☐ ない					

コード	9058	事務事業名称	汚水施設整備事業			所属名	建設課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☒ 改革・改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続			委託範囲を追加することにより、設計・積算業務に即時適用できるよう図っていく。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☒</td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	☐	☐	☒	不 変	☐	☐	☐	低 下	☐	☐	☐	委託範囲を追加することに伴う経費の増加が見込まれるが、設計・積算業務に関する省力化により成果の向上を図る。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	☐	☐	☒																							
	不 変	☐	☐	☐																							
	低 下	☐	☐	☐																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
公共下水道の未整備地区の整備促進と、供用開始区域内の遅延区域（現況が畑・駐車場等の未利用地）の早期整備に併せて市街化調整区域の整備。	

所属長コメント	設計・積算業務委託を省力化できるよう委託の効率化を図り、公共用水域の水質保全、生活環境の改善と衛生的な都市づくりをする必要があることから継続していく。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続	委託範囲の追加によって効率性の向上を図るべき。